

# TDM ケーブル検出機能の概要

## 内容

### [概要](#)

[ケーブル検出機能の概要](#)

[ケーブル検出機能](#)

[バージョン15.2\(4\)Mより前のIOSバージョン](#)

[IOSバージョン15.2\(4\)M以降](#)

[IOSバージョン15.3\(3\)M1](#)

## 概要

このドキュメントでは、ケーブル検出機能を使用して、Cisco TDMのForeign Exchange Office(FXO)またはForeign Exchange Station(FXS)ポートに接続されている物理ケーブルの存在を確認する方法について説明します。

## ケーブル検出機能の概要

ケーブル検出機能は、Cisco IOS<sup>®</sup>バージョン15.1(1)Tで導入されました。この機能は、FXOポートまたはFXSポートに接続された物理ケーブルの存在を確認するために使用されます。この機能は、使用されているIOSバージョンに基づいて、2種類の方法で動作します。

次のセクションでは、この機能の機能と、注意が必要なさまざまなコマンドと出力について説明します。

## ケーブル検出機能

このセクションでは、ケーブル検出機能の実装方法と使用方法について説明します。

### バージョン15.2(4)Mより前のIOSバージョン

ケーブル検出機能は、syslogメッセージの使用や、ポートの動作ステータスの変更を通じて通知します。これは、`show voice port summary`コマンドの出力で確認できます。

次の表に、各種ポートの通知タイプを示します。